月日 新聞 月日 新聞 月日 新聞 月日 新聞 月日 新聞 月日 新聞 月日 新聞

青天白

増田伸銅所の爭議尚解決せず（大阪市）

藤永田造船所と同樣海軍省の指定工場である大阪市北區合名會社増田伸銅所の職工二百五十名が結束して去る六日會社に對し團體交渉權其他十項の要求を提出した事は既報の如くで爾來職工等は同盟罷業を決行してゐるが回答期限である十日正午實行委員清水末吉外五名は同會社に於て會社側代表と會見深更に至るまで折衝を重ねてゐたが圓滿なる解決は困難の模樣である

藤永田の職工側委員か 2 部署を定める

大阪西區三軒家上の町朝日倶樂部の藤永田罷業職工事務所では十日は更に職工側一同の結束を固むべく軟化職工に對する防止と制裁方について協議を凝らした上今後の運動を一層規律的ならしめるため總務、外交、通信等の七部署を定め十名乃至三十名の委員を選擧して之が分擔事務に當らしめることにした

藤永田事件の 3 檄文で 神戸からも引致者

大阪藤永田造船所の爭議に關し市内八工場の職工をして同情罷工をさせるべく過激な檄文數萬枚を撒布したといふので十日午前中友愛會大阪聯合會主事西尾末廣外十二名を朝日橋署に引致取調中の事は既報の如くであるが同日午後友愛會神戸聯合會主事藤岡文六氏も引致され深更まで取調を受けてゐた單に檄文を印刷撒布したといふのみでなく藤永田造船所の爭議に際し職工側の裏面に於て前記友愛會幹部等が煽動的行爲に出たとの事からも取調を進めてゐるのである而して檄文の筆者は西尾友愛會主事で既報安藝旺、矢野順三郎の兩名が南區惠比須町印刷工組合事務所内印刷部に於て刊行したものらしく隨つて安藝、矢野の兩名は出版法違反として西尾、松岡、東、島、藤岡、早川の諸氏は執筆者乃至謀議者として其他は檄文撒布者として取扱はれて居る因に前記の内安藝矢野其他數名は十日夜一應歸宅を許されたが尚關係者兩三名の召喚を見る模樣である

鈴木文治氏は 今朝着阪の豫定

友愛會長鈴木文治氏は十一日午前六時二十分着阪する旨十日夜友愛會聯合會に打電して來たので同會では會員一同大行列を作つて大阪驛頭に出迎へる筈である鈴木氏は一應友愛會聯合會に落つき藤永田造船所爭議の對策並に別記幹部召喚に對する善後策等につき協議した上同夜午後六時から九條市民殿に於て擧行される大阪機械工組合發會式に臨む豫定であると

尼崎鐵工所も職工から要求 解雇せぬ保障等

青天白

尼崎鐵工所突如閉鎖 職工の手當要求を刎ね付けて

尼崎市尼崎鐵工所は職工約二百名あり過般來不景氣の爲め工場閉鎖の噂立ちたる爲め同所の鑄物職工約四十名は

寄々 協議中であつたが九日に至り會社に對して閉鎖する解雇手當何程を支給するかと質問した處會社では閉鎖時期は未定であるとの口實で質問を刎付けたので職工は更に「今後六箇月間工場を閉鎖せず」との

保障 を與へて呉れと申込み工場内はゴタ〳〵して居たが十日に至り會社は突然工場を閉鎖したので職工連は大いに驚き直ちに友愛會の應援を求めて正式に解雇手當の要求をする由である

松浦市三郎等何れも熱辯を振ひ開催中玉造職工組合職工三十名は各自提灯を持ち勞働歌を高唱して來會し氣勢を添へ所轄難波署では萬一を慮つて警戒したが靜肅に九時三十分散會した